

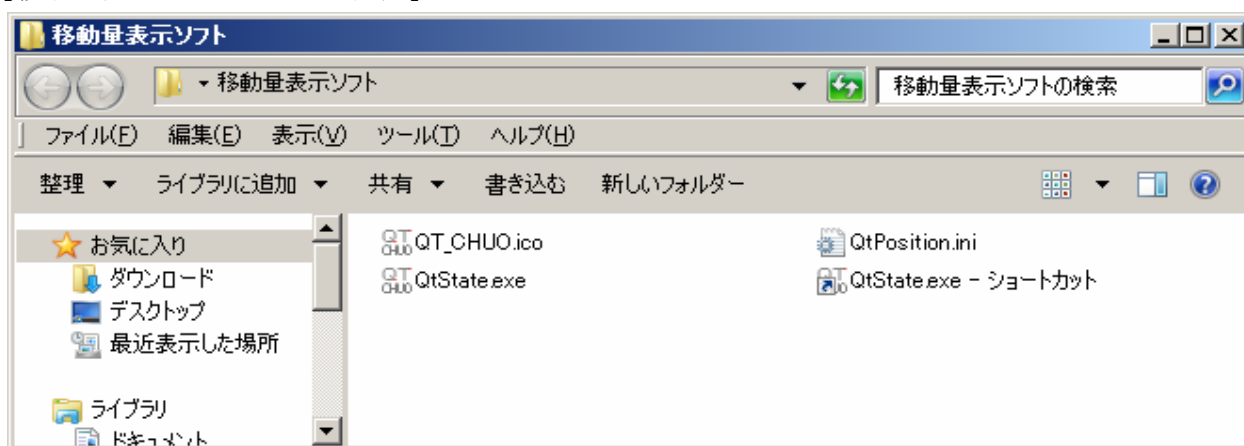
QT 移動量表示ソフト取扱説明書

QT 移動量表示ソフトは、QT-ADM2 と PC を接続し QT-AK の表示パルス数を距離(長さ)に変換し、PC のモニターに表示するプログラムです。

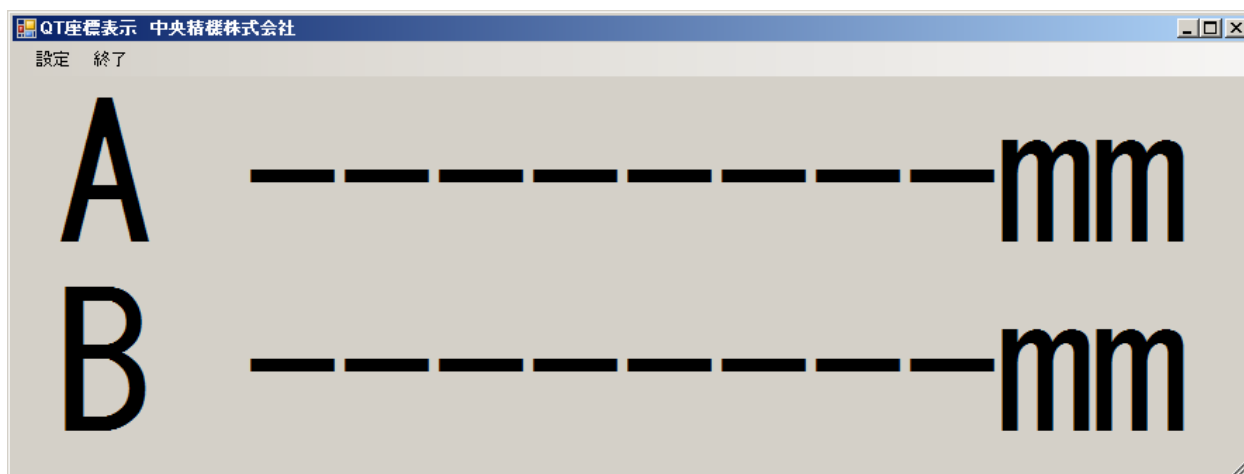
①起動方法

移動表示量ソフトのメニューより“QtState.exe”もしくは“QtState.exe – ショートカット”からプログラムを起動します。

【移動量表示ソフトメニュー画面】



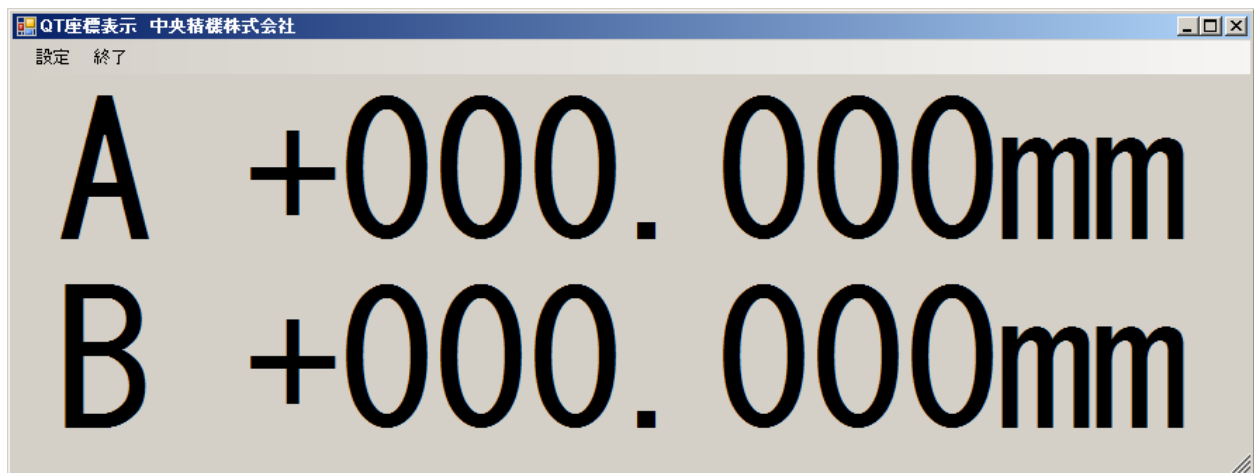
【初期画面】



※QT-ADM2 と接続されていないときは、数値は表示されません。

②QT-ADM2 との接続、切断方法

【QT-ADM2 との接続時の画面】



・メニュー項目の説明

「設定」→「接続」: QT-ADM2 と接続し、通信を開始します。通信を開始すると、
A,B 軸の数値が表示されます。

「設定」→「切断」: QT-ADM2 との通信が切断されます。

「終了」 : プログラムを終了します。接続状態のときは、接続を切断してから
終了をクリックしてください。

③パラメータの設定

【パラメータ設定画面】

- ・メニューの「設定」→「パラメータ設定」を選択すると、パラメータ設定画面が表示されます。

通信ポート : QT-ADM2 と接続する通信ポートを指定します。

ボーレート : QT-ADM2 と通信する速度を指定します。

ビット長 : QT-ADM2 と通信するビット長を指定します。

パリティビット : QT-ADM2 と通信するパリティビットを指定します。

ストップビット : QT-ADM2 と通信するストップビットを指定します。

ステージ分解能 : QT-ADM2 と接続しているステージの分解能を指定します。

通信間隔 : QT-ADM2 と PC 間で通信を試みる間隔を指定します。
通常は初期値のままで使用してください。

通信タイムアウト : QT-ADM2 と PC 間で通信が出来ていないということを判断する時間です。
通常は初期値のままで使用してください。

保存して終了 : 設定を変更したときに、変更を反映してパラメータ画面を閉じるボタンです。

破棄して終了 : 設定を変更したくないときに、変更を反映せずにパラメータ画面を閉じるボタンです。

以上